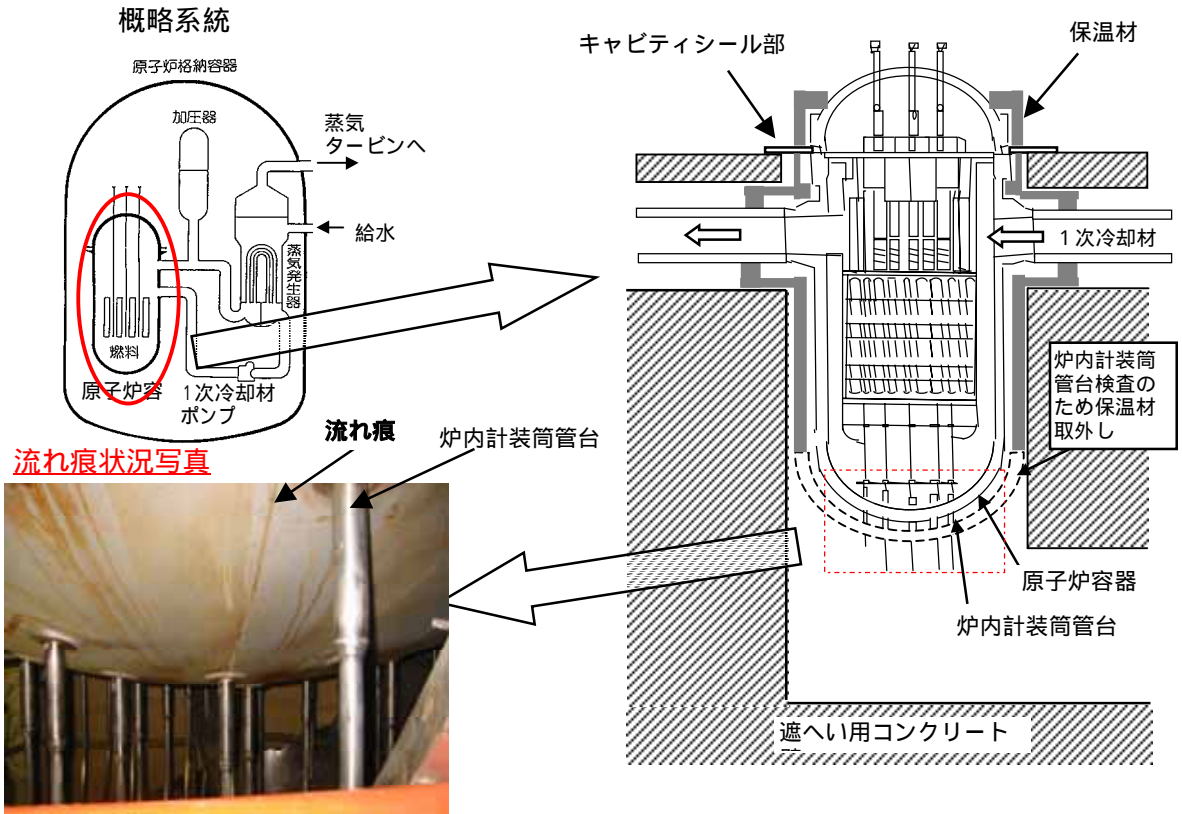


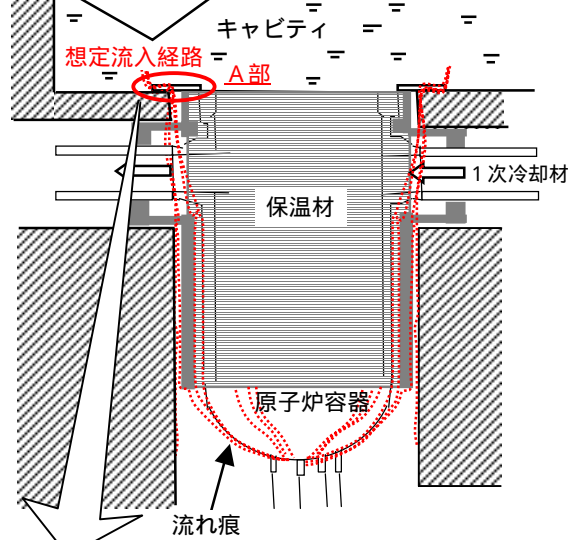
美浜発電所2号機 原子炉容器下部における流れ痕の確認について

流れ痕確認場所

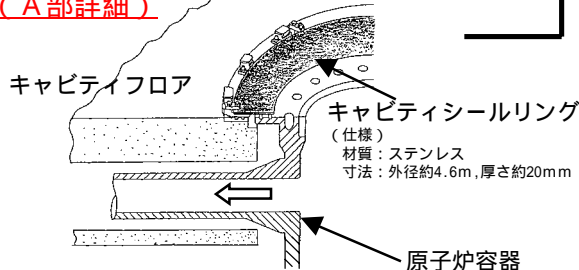


推定原因

原子炉容器の各部を点検していたところ、キャビティシール部からの流れ痕が認められた。

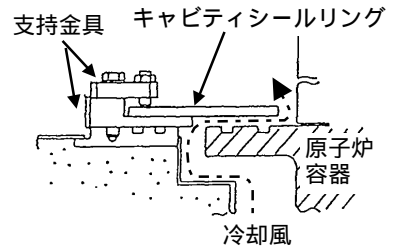


(A部詳細)



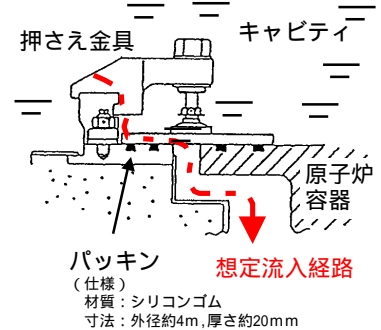
運転中

運転中はキャビティシールリングを少し浮かし、原子炉容器外周の冷却風の通路として使用している。



定検時

定検時は燃料取替にあたりキャビティに水を張るため、冷却風の通路をキャビティシールリングを押し下げて閉じているが、過去の定期検査中にシール性能が不十分でリークしたと考えられる。



対策

原子炉容器本体等には異常は認められませんでした。今後、底部の流れ痕については可能な範囲で洗浄し、除去する予定です。

* キャビティ: 燃料取替時に水を張るプール